

# 令和2年度第2回琴浦町地域福祉推進協議会（報告）

日時：令和2年7月16日（木）

19時00分から21時05分

場所：琴浦町社会福祉センター 中会議室

## 《 日 程 》

※主な内容を掲載しています。

### 1 開 会

あいさつ

- ・推進協議会 座長
- ・琴浦町社会福祉協議会長
- ・琴浦町役場福祉あんしん課 渡辺課長

※町は今年度第4期の地域福祉計画の策定を計画していたが、コロナ対策を優先とした行政運営に努めなければならない状況のなか、新しい生活様式に合わせて各種計画を見直さなければならない。関係法令の制度改正もあり、来年度に第4期福祉計画を見直していく。社協が先行して地域福祉活動計画の策定をするが、すり合わせ等を行い、町としても共にやっていきたいと考えている。

### 2 報告事項

#### (1) 第1回議事録

議事録は今後、ホームページに掲載していく。

#### (2) 八頭町社協視察研修の中止について

コロナウイルス感染者が発生のため中止とした。

### 3 説明

#### (1) 第2期琴浦町地域福祉活動計画中間見直しについて

#### (2) 琴浦町社会福祉協議会事業評価について

#### 【事務局の説明に対する質疑】

(座 長) 町が策定する「地域福祉計画」と社協が策定する「地域福祉活動計画」の関係を教えてほしい。町の計画にもとづき、社協が実際に動くということで良いか。

(事務局) 地域福祉活動計画は町の計画に沿って具現化したもので、実働部隊。そこに係る人件費について町から補助金としていただいている。

(座 長) 計画の理念はこの会で作る必要がないのではないか。

(事務局) 「地域福祉計画」と共通した理念ということも考えられますが、今後計画策定の中で検討していただければと考えております。

(コデレカ) 町の計画より先行して協議する意味は、地域の現状把握に力を入れてほしい。町の計画策定にも生かされるものとなる。

(委 員) 今回の事業評価は、前委員が評価したものでなく、職員が評価したものでか。

(事務局) 職員が評価したものです。

(委員) こども食堂の取組で、必要な人への広報はどうしているのか。実情を知っている民生委員や区長を通じての広報をされればいいのではないかと感じている。

(事務局) 福祉あんしん課、各公民館へチラシの張り出し、保健師や社協から気になる家庭へ声掛けもされていた。

(座長) 地域社会の支え合いや、助け合いができてきているのかということをお話し合えたらと思う。社協の人員が少なかったら、事業を絞ることも必要であり、現状をもっとつかみたいと思うので、今後の進め方はどうなるのか。

(事務局) 今年度の町の補助金についての考え方について、第1回会議資料で配布した資料のとおりです。町が補助の対象とする地域福祉事業の1/2を町が補助する。他は社協の独自財源で取組。今後の進め方については模索中。集落訪問の結果を委員の皆さんにお知らせできるのは、10月以降となる。

(座長) 次回からは論点を整理して、委員の皆さんにお知らせできるよう、座長、副座長、コーディネーター、事務局と相談し提案します。

(コーディネーター) 社協の限られたスタッフだけでなく、各集落の福祉委員などがおられるが、地域でどのように支えるのか。災害についてということをもとに、共助のしくみについて話し合うことが今の状況ではできるのではないかと。

## (意見)

- ・事業報告が住民側からすると非常にわかりづらい内容となっている。
- ・障がい者に対する視点が少ない。
- ・現状の報告はあるが、数字で示されていない。目標の立て方、現状把握の仕方がどうなのか。現状がわからない。
- ・量と質がどうなのか。内容が大切である。(職員の資質)
- ・限られた職員でたくさんの事業を行っている。行政と社協とのパートナーシップとして取り組むのであれば、必要な事業には財源をつけて社協に委託すべき。行政の、民間(地域)の役割が見えない。
- ・地域の課題を明らかにする事。現状を把握すること。
- ・自分自身も地域の課題が分からないなか、社協が地域に出かけて、集落の課題や現状を把握することは今後も続けて行けば地域の課題が見えてくるのではないと思う。
- ・社協は町民にとって必要なのに、財源がないからと必要な事業がなくなってしまう。お金がないのに、物をあげて、福祉の心が育つということはどうなのか。サービスが必要な人(本当に困っている人)に実施することは必要。
- ・町と社協の役割が分からないと何を止めて何に力をいれていいのかがわからない。
- ・社協はたくさんの事業をやっているが、働いている職員の負担が大きいのではないかと。満足度がどれくらいあるのか心配。費用対効果が出ているが、全ての人に満足してもらおうということは、矛盾している。
- ・今回の会の進め方は、効率が悪く、次回からは検討事項の要点と資料を事前配

布したやり方が望ましい。

- ・ 論点整理をして、会議に臨むことで、効率的に議論が進むと思う。
- ・ 委員はそれぞれの立場から参加しているので、出た意見をまとめて計画を策定するのがよいと思う。
- ・ 地域住民は疲弊している。地域全体で支え合うという意識が薄れてきている。
- ・ 地域でやっていくという意識をつくっていかないといけないと思い、今回協議会に応募した。社協に頼るだけでなく、地域がどのように取り組めばいいかということはこの会で考えればと思っている。
- ・ 地域が良くなれば、社協も良くなると思う。
- ・ 議論の焦点を合わせていくのが良い、幅が広くならないようにした方がよい。
- ・ 小さい頃の教育が大事とあるが、親の教育が大事ではないかと思う。
- ・ たくさんの事業に取り組んでいるが、少ない職員の中で、できないのではないかと感じている。
- ・ 今年度居宅介護支援事業がなくなって、地域の情報が入りにくくなっているのではないか。
- ・ 高齢者クラブの数が段々に減ってきているが、申請等文書の簡素化の見直しが必要ではないか。

#### 4 事務連絡

八頭町社協の視察研修 7 / 27 (月) 13 : 00 出発

#### 5 閉会

次回推進協議会 8月5日(水) 19 : 00